

令和8(2026)年度 山口県立大学「やまぐちSPARC先取り履修」募集要項

「SPARC教育プログラム」とは、「文系DX人材」育成に必要な資質・能力を身に付けることを目指した、山口大学・山口県立大学・山口学芸大学(以下、「3大学」という。)が連携して提供する教育プログラムです。

3大学では、県内外の高等学校等（高等学校又はこれに準ずる教育機関）に在学する生徒（以下「高校生等」という。）が、3大学が取り組んでいるSPARC教育プログラムの授業科目を履修することができる先取り履修生を募集します。

高校生等に対して、3大学の学部生を対象に開設する授業科目の履修機会を提供し、大学レベルの教育に接する機会を提供することで、大学教育に対する理解を深めるとともに、自らの学習意欲を喚起し高等学校等における教育の一層の涵養を図ることを目的とします。

1 履修の時期

令和8(2026)年度後期

2 履修資格

次の各号に掲げるすべての要件を満たしている高校生等とします。

- (1) 山口県内外を問わず、高等学校等に在学する生徒で、履修する科目的全授業を受講できること
- (2) 在学する高等学校等の校長の推薦があること
- (3) 履修科目に履修要件がある場合は、その要件を満たしていること

3 履修科目及び単位数、募集人員等

科目名	単位数	開講時期	募集人員
地域文化論	2 単位	後期	30 名

4 申請手続

(1) 申請受付期間

令和8(2026)年4月1日(水)～令和8(2026)年7月31日(金)17時(必着)

受付時間は9時から17時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。

(2) 申請方法

① 仮申請(ホームページからの入力)

ア 履修を希望する高校生等は、「やまぐち SPARC 先取り履修」のホームページ(以下「ホームページ」という。)にアクセスし、履修申請のページの仮申請フォームに、氏名、学校名、連絡先、希望する授業科目等を入力してください。

URL : <https://sites.google.com/yamaguchi-kyoso.or.jp/yamaguchi-sparc-sakidori>

イ この仮申請は、各大学が履修希望状況を把握するための事前登録ですので、この段階では正式な申請とはなりません。

②正式申請(申請書類等の作成と郵送)

ア 仮申請後、ホームページ上の「履修志願書様式ボタン」をクリックすると、「やまぐちSPARC先取り履修」志願書(PDF、Word)の様式が表示されます。

イ 志願書をダウンロード・印刷し、必要事項を記入の上、在学する高等学校等の学校長から推薦を受けてください。

ウ 在学する高等学校等を経由して、志願書に写真を添えて郵送してください。これにより、正式な申請となります。

(3) 申請書類等

①「やまぐちSPARC先取り履修」志願書(学校長の推薦内容を含む。)

②写真 1 枚(縦3cm×横2.5cm。正面無帽上半身で出願前3カ月以内に撮影したもの。裏面に氏名を記入すること。)

(4) 申請上の注意事項

①仮申請だけでは履修許可は得られません。必ず志願書等の郵送による正式な申請を行ってください。仮申請後、大学から確認メールを送信します。この確認メールに志願書様式のダウンロードリンクも案内されますので、必ず印刷・記入し、提出漏れのないようご注意ください。

②提出書類に記載漏れその他の不備がある場合は受理をしませんので、出願の際には十分確認してください。

③申請書類等の提出は必ず書留、簡易書留、レターパックなど追跡可能な方法によるものとし、表に「やまぐちSPAC先取り履修志願書 在中」と朱書きで記載してください。

5 履修の可否等

(1) 申請書類について審査の上、履修の可否を決定します。

(2) 審査結果は初回受講日の2週間前までに、授業の実施大学から在学する高等学校等に郵送で通知しますので、高等学校等から結果を受け取ってください。

(3) 履修を許可された者には、入学許可書を送付します。

(4) 入学許可後、履修開始については、別途ご案内いたします。

6 履修に係る費用

(1) 入学料および授業料等、履修に係る費用は令和8年度は無料で実施します。ただし、履修する科目により、教材費や授業時の事故等に備える学生保険料等が必要となる場合があります。

7 成績評価

- (1) 成績評価の方法等は、授業科目によって異なります。本募集要項末尾に掲載のシラバスによりご確認ください。
- (2) 所定の授業時間数の3分の2以上出席していない科目については、定期試験の有無や授業中に行われた試験等の成績に関わらず、単位修得は認められません。

8 単位の授与

- (1) 試験、レポート等により所定の成績を修めた場合には単位を授与します。
- (2) 単位を修得した授業科目について、単位修得証明書を交付します。
- (3) 単位修得の有無にかかわらず、在学する高等学校等の学校長宛に結果を通知します。
- (4) 単位を修得した授業科目は、3大学のいずれかへ入学後、当該授業科目が入学先大学の教育課程にSPARC教育プログラムの科目として開設されている場合、本人の申請に基づき、原則として当該授業科目の単位として認定されます。
- (5) 詳細は、入学後に各大学の規程に従って手続きしてください。

9 出願及び問い合わせ先

〒753-8502 山口県山口市桜島6丁目2番1号
山口県立大学 教育研究支援部教務部門
電 話：(083)929-6506
電子メール：kyoumu@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

科目名	地域文化論 b (先取り履修用)					授業コード	HIJ0013b							
科目ナンバリング	授業形態		履修形態		単位数		年次							
BC202aJ	講義		必修		2単位		1年							
担当者名	斎藤 理													
学修目標との対応														
DP1			DP2			DP3								
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3						
	○		○	○										
授業概要														
地域文化に対する知識を身に付けることを目的とする。地域の文化的豊かさとそれを発見する手法を具体的な事例を交えて紹介する講義を行い、その豊かさの歴史的背景を深く読み解くことで、自らの文化や芸術そして地域文化についての知識を深めさせると共に、それらの価値について批判的に思考する力を身に付けさせる。さらに、創造的な発想力と知的好奇心をもって、日本文化や地域文化の創造に関わり、地域文化の諸課題に対応することができる資質を養うことを目指す。														
到達目標				成績評価の方法と基準										
地域の文化的豊かさとそれを発見する手法について学ぶことで、地域の特性や文化を理解し、地域の諸課題を相対的に評価することができる。				小課題、最終レポート等の内容による。										
学習目標		評価項目と割合												
具体的学習目標		配点比率	授業態度	小テスト	自主学習態度	レポート	プレゼンテーション	学期末筆記試験						
(1) 基礎的理解		25	25											
(2) 文献資料の調査・分析能力		25		25										
(3) 論理的なまとめ／表現能力		25				25								
(4) 独創的な問題分析能力		25				25								
授業の項目と内容・方法				事前事後学習の内容と目安時間										
第1回	(オンデマンド授業) 全体ガイダンス													
地域文化とは何か				講義全般の流れを理解し、おおよその学習計画を決める 事前事後学習の目安：4時間										
第2回	(オンデマンド授業) 「繋がる」													
地域社会を形成するさまざまな繋がり、とくに大学と地域との繋がり方について学びます。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第3回	(オンデマンド授業) 「守る」													
各地域における自然環境や文化財保護の政策・実践について学びます。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第4回	(オンデマンド授業) 「賑わう」													
賑わうことの文化的意味、ならびに賑わいの空間を生み出す都市計画上の手法について学びます。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第5回	(オンデマンド授業) 「想像する」													
とくに日本文化を理解する上で重要な「見立て」の手法について、庭園などの事例を挙げながら学習します。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第6回	(オンデマンド授業) 「彩る」													
文化形成と色彩の関りについて、「街の色」を考えながら学びます。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第7回	(オンデマンド授業) 「資料検索、調査・研究の進め方」													
最終レポート作成に向けてのガイダンスとして、地域文化の調査方法について学習します。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第8回	(オンデマンド授業) 「飾る」													
地域固有の装飾や祭り、その継承のあり方について学習します。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第9回	(オンデマンド授業) 「味わう」													
主に食と音楽にまつわる広場やバザール等、地域の環境形成について学びます。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										
第10回	(オンデマンド授業) 「記念する」													
地域のアイデンティティーに影響する記念碑＝モニュメントについて学びます。				専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間										

第11回	(オンデマンド授業)「数える」	
人々が創り出してきた空間の数的秩序について、その特質・読み取り方について考えます。	専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間	
第12回	(オンデマンド授業)「散歩する」	
まちの散歩の実態について学び、環境形成との関わりを探ります。	専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間	
第13回	(オンデマンド授業)「遊ぶ」	
文化形成に遊びが果たしてきた役割、地域のなかでの遊びの空間創造について学びます。	専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間	
第14回	(オンデマンド授業)「住む」	
地域に根ざした人びとの住まい・暮らしに対する考え方について学びます。	専門書の読解を通し、適宜、講義内容のまとめと準備 事前事後学習の目安：4時間	
第15回	(オンデマンド授業)総括	
山口とその他の地域とを比較しつつ、本講義の総括とします。		
テキスト、副読本、教材	講義中に適宜指示／配布します。	
受講生へのメッセージ	・講義の目標は、詰め込みで受講生の知悉を増やすことにあるのではなく、むしろ、講義で耳にしたこと为契机に、「自ら地域に関する資料を調べてみる」、「機会があれば自らフィールドで分析する」、「調べた成果を自らの切り口でまとめ公表する」、この3つのステップの面白さに触れてもらえればと考えています。このスキルを習得できれば、その後の大学での学習にも大いに役立つことだと思います。 ・講義の構成は、毎回、ひとつの単語（動詞）をテーマに挙げ（計12単語）、これを視軸に地域が持っている文化的魅力、思想的背景を深く読み解いていきます。これは、地域の文化について、表層的・概念的に押さえるのではなく、生活に根ざした視点から深く掘り下げようという意図があります。 ・講義を通じて、「地域の魅力を見出す目」を養い、今後の大学や地域での実践的な学習活動に活かして下さい。 授業全般を通じて、地域文化振興に寄与するボランティア活動の意義や、コミュニティ・サービスラーニングの実例・具体的な活動手法についても学習していきます。	
履修条件及び備考（レポート評価基準・その他の具体的評価内容基準等）	【先取り履修をする高校生用に開講する科目です】 基本的に座学形式の講義ですが、適宜、レポートの内容に応じ各自でフィールド調査も実施します。 「地域志向科目」 「YFL科目」	